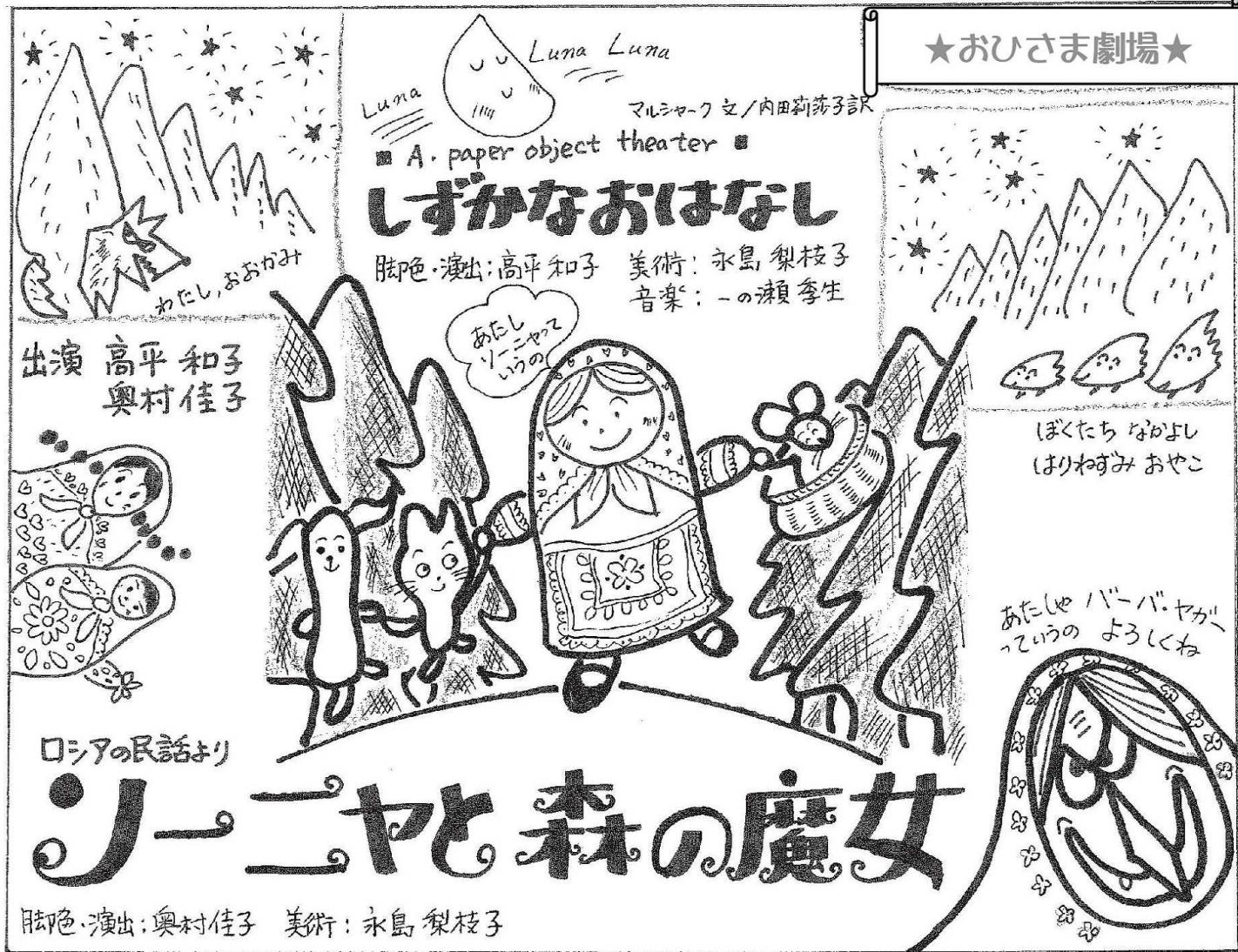


ファミリ一人形劇 人形劇団 クラルテ 公演



しすかなおはなし

しすかなおはなし
しずかなしずかな森の中。
そっと耳を澄ませてごらん・・・風の音・・・
木がゆれる音・・・そして、とふとふとふ・・・。
あれはなんの音?
はりねずみの親子が散歩しているのかな?
ペーパークラフト風の人形が深い深い森の中の、
小さな生き物たちを静かに演じます。

ソーニヤと森の魔女

元気で働き者のソーニヤを新しいお母さんは
よけいものにします。お母さんはソーニヤを森の
魔女、バーバ・ヤガーのところへお使いに行か
せます。二度と戻れないかもしれません。
でもソーニヤは元気に出かけます。
マトリョーシカ人形のようにかわいいお話です。

“クラルテ”は
フランス語で「光」という意味です。



たとえそれがどんなささやかなものであっても、
常に世の中の光でありたい。
大人の人たちにも子ども達にも、
常に正しい光をともしたいという気持ちを表して
います。

1948年2月大阪府寝屋川市香里園にて発足。
一旦解散するが、1955年に住之江区南加賀屋にて再出発。
以来、関西一円の小学校・幼稚園・保育所を中心に、北海道
から沖縄まで全国で公演活動を行っています。

NPO 法人みんなの劇場おかやまは
子どもの育ちを応援しています！

1985年 子どもたちの心ゆたかな成長を願い、地域のお母
さんたちが「西大寺子ども劇場」を立ち上げました。
質の高い舞台芸術との出会いと子どもの体験活動を軸に、
30年以上 活動を続けています。現在は「みんなの劇場おか
やま」になり、大人と子どもが育ちあう文化拠点でありたい
と思っています。みんなの劇場の公演やイベントに
ぜひ一度ご参加下さい。